

代表的な機能	1-2	メニューバーについて	1-19
各部の名称と機能	1-4	スタートメニューから機能を 起動する	1-19
USIMカードのお取り扱い	1-5	スタートメニューの項目を 並べ替える	1-20
USIMカードをご利用になる前に	1-5	機能の操作方法を確認する	1-21
USIMカードを取り付ける／ 取り外す	1-6	「お使いになる前に」を利用する	1-21
PINコード	1-7	本機のヘルプを利用する	1-21
PINコード	1-7	オンラインヘルプを利用する	1-21
PIN2コード	1-7	タッチパネルとモーション コントロールの使いかた	1-22
PINロック解除コード(PUKコード)	1-7	項目を選択する	1-22
暗証番号	1-7	縦／横画面表示を切り替える	1-22
交換機用暗証番号	1-7	スクロールする	1-23
発着信規制用暗証番号	1-7	パンする	1-23
電池パックのお取り扱い	1-8	表示を拡大／縮小する	1-23
電池パック・電池カバーを 取り付ける／取り外す	1-8	シェイク操作で指定した動作を行う	1-23
充電する	1-10	タップ2回操作で タスクマネージャーを起動する	1-24
電池残量の確認のしかた	1-12	モーションセンサーを設定する	1-24
電源を入れる／切る	1-12	モーションセンサーを調整する	1-24
電源を入れる	1-12	フローティングパッドの使いかた	1-25
電源を切る	1-13	フローティングパッドを起動する	1-25
スリープモードについて	1-13	フリーカーソルパッドの使いかた	1-25
初期設定を行う	1-14	マルチファンクションパッドの 使いかた	1-26
日付／時刻の設定	1-14	フローティングパッドを消す	1-26
日付と時刻の表示形式を設定する	1-15	フローティングパッドを設定する	1-26
デバイスロック画面の通知アイコン	1-15		
ホーム画面	1-16		
ホーム画面から機能を起動する	1-16		
タイトルバーに表示されるアイコン	1-17		

世界対応ケータイ (2-9ページ)

ソフトバンクが提携している海外の通信事業者 (3G/GPRS/GSM ネットワーク) に接続して、海外でも音声電話やSMSなどを利用できます。

メール (5-2ページ)

SMS/S!メール/電子メールに対応しています。会社や自宅のパソコンと同じメールを送受信できます。

Webブラウザ (6-2ページ)

Internet Explorer® Mobileでパソコン向けのWebページを閲覧できます。

連絡先/PIM機能 (4-2ページ)

- 連絡先に名前や電話番号、メールアドレスなどの個人データを登録できます。
- 予定や仕事を登録してスケジュール管理ができます。
- メモを手書きで作成したりボイスメモを録音したりできます。

カメラ (11-2ページ)

タッチパネルと専用のカメラボタンを利用した簡単な操作で静止画と動画を撮影できます。

音楽や動画の再生 (12-2ページ)

- Windows Media® Playerで音楽や動画を再生できます。音楽/動画ファイルや再生リストをパソコンのライブラリと同期させることができます。
- Kinoma Playを使用して、本機やWeb上にある音楽やビデオ、写真などを再生できます。登録したサイトの最新情報をRSSリーダーで確認したり、ポッドキャストで映像/ラジオ番組を視聴したりできます。

オフィスアプリケーション (8-2ページ)

WordやExcel、PowerPoint®のファイルやPDFファイルを開覧できます。WordやExcelファイルは編集することもできます。

ワイヤレスLAN機能 (9-4ページ)

自宅や会社、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、インターネットを利用できます。

Bluetooth®機能 (9-8ページ)

Bluetooth®対応のパソコンやヘッドセットなどと接続できます。

パソコンとのデータ同期 (7-2ページ)

ActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターを使って、本機とパソコンとの間で電子メールや連絡先、予定表、仕事、メモ、Internet Explorer®のお気に入りなどを同期させることができます。

モーションコントロール (1-22ページ)

- 本機を縦/横に持ち替えることで、縦/横画面表示を切り替えることができます。
- 本機を振る (シェイク) 操作であらかじめ指定した動作を実行したり、本機の背面を2回たたたく操作でタスクマネージャーを起動したりできます。

フローティングパッド (1-25ページ)

パソコンのマウス操作と同じようにポインタを動かすフリーカーソルパッドと、上下左右ボタンでカーソルを移動するマルチファンクションパッドを利用できます。

その他の便利な機能（15-2ページ）

- 「いつもNAVI（無料地図）」で、現在地を確認して周辺情報を検索したり、目的地までのナビゲーションや乗換案内を利用したりできます。
- 国語辞典や英和辞典、和英辞典を利用できます。
- Windows Marketplace® for Mobileから好みのアプリケーションをダウンロードして本機にインストールすることができます。

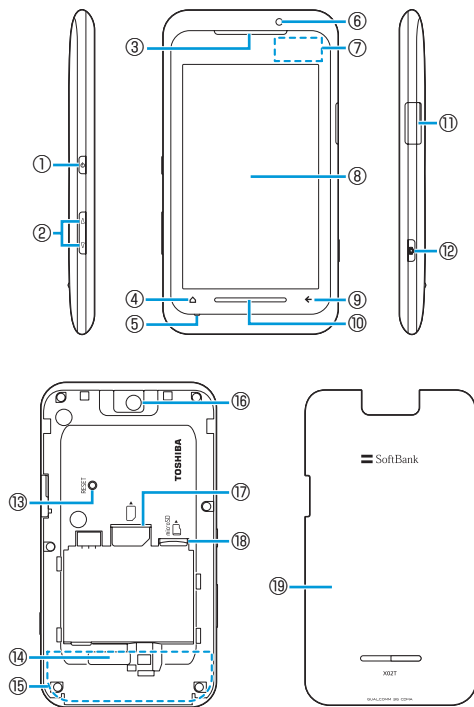
オプションサービス（2-11ページ）

- **転送電話サービス**：かかってきた電話をあらかじめ指定した番号へ転送します。
 - **留守番電話サービス**：電話に出られないとき、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。
 - **割込通話サービス***：通話中にかかってきた電話を受けることができます。
 - **グループ通話サービス***：複数の相手と同時に通話したり、相手を切り替えながら通話できます。
 - **発着信規制サービス**：電話の発信と着信を状況に合わせて制限できます。
 - **発信者番号通知サービス**：お客様の電話番号を相手に通知する／しないを設定できます。
- ※ 別途お申し込みが必要です。

各部の名称と機能

1

ご利用になる前に



名称	説明
① 電源ボタン	長く押して電源をオン／オフします。 短く押してスリープモードを設定／解除します。
② 音量ボタン	相手の声やスピーカーの音量を調節します。 モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のとき（1-24ページ）、を1秒以上押して画面の縦横表示を切り替えます。
③ 受話口	相手の声が聞こえます。
④ ホームキー	ホーム画面に戻ります。
⑤ 送話口	自分の声をここから送ります。録音するときにはマイクになります。
⑥ お知らせLED	<ul style="list-style-type: none"> ・赤色点灯：充電中 ・青色点滅：電話着信中や不在着信通知があるとき、アラーム動作中など ・緑色1回点灯：電源オン ・緑色点滅：スリープモード
⑦ 照度センサー	周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節します。
⑧ 感圧センサー	感圧式タッチパネル端末のため、ここに感圧センサーが入っています。 ※感圧センサーが入っているため、この部分が凹凸している場合があります。
⑧ ディスプレイ	指またはスタイラスペンでなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します。
⑨ バックキー	画面右上に表示される「OK」や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。
⑩ UIキー	画面の方向になぞってフローティングパッド（1-25ページ）を起動します。 Webページ表示中などに左右になぞって表示を縮小／拡大できます。

USIMカードをご利用になる前に

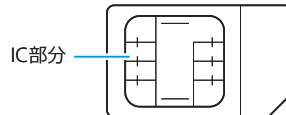
1

ご利用になる前に

USIMカードは、お客様の電話番号や連絡先などの情報が記憶されたICカードです。本機のご利用にはUSIMカードが必要です。

- USIMカードには、連絡先やSMSを保存できます（4-2、4-4、5-12ページ）。
- USIMカードに保存したデータは、ほかのUSIMカード対応ソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードを他社製品のICカードリーダーなどに挿入して故障したときは、お客様ご自身の責任となります。当社では責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードに関するその他の内容については、USIMカードに付属の取扱説明書をご覧ください。

名称	説明
⑪ 外部接続端子	付属のPC接続用USBケーブルやイヤホン変換アダプタなどを接続します。
⑫ カメラボタン	長く押してカメラを起動します。撮影画面でシャッターキーとして使用したり、動画撮影を開始/終了します。
⑬ RESETボタン	スタイラスペンの先で押して、本機をリセット（再起動）します（14-9ページ）。
⑭ スピーカー	着信音や音楽の再生音、スピーカーフォン利用中に相手の声が聞こえます。
⑮ 内蔵アンテナ部分	アンテナが内蔵されています。よりよい条件で通話するために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
⑯ カメラ	静止画や動画を撮影します（11-2ページ）。
⑰ USIMカードスロット	USIMカードを挿入します（1-6ページ）。
⑱ メモリカードスロット	メモリカードを挿入します（10-4ページ）。
⑲ 電池カバー	—



- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約の際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様がUSIMカードに登録された情報内容は、控えを取っておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードやソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

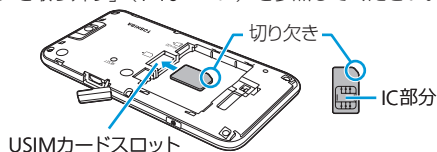
USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付け／取り外しは、本機の電源を切り、電池カバーと電池パックを取り外してから行います。

USIMカードを取り付ける

1 IC部分を下にして、USIMカードを図の向きでUSIMカードスロットの奥まで差し込む

- 電池カバーと電池パックの取り外しかたについては、「電池パックを取り外す」（1-10ページ）を参照してください。



USIMカードを取り外す

1 USIMカードスロットからUSIMカードをゆっくり引き抜く

- USIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、USIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、USIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードをなくさないようにご注意ください。

PINコード

USIMカードには、PINコード／PIN2コードと呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

- PINコード／PIN2コードは変更できます（13-3ページ）。
- お買い上げ時はPINコード／PIN2コードとも「9999」に設定されています。

PINコード

第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。PINコード設定を有効にしている場合は、電源を入れたときにPINコードを入力しないと本機を使用できません。

PIN2コード

オンラインサービスなどで個人認証が必要な場合に入力する4～8桁の暗証番号です。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定されます。PINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、PINロックは解除されます。PUKコードとPINロック解除方法については、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

- 間違ったPINロック解除コードを10回続けて入力すると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります（USIMロック）。USIMカードがロックされた場合は、所定の手続きが必要となります。**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

暗証番号

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の暗証番号で、発着信規制サービスの設定を行う場合に必要な番号です。発着信規制用暗証番号は変更できます（2-14ページ）。

入力を2回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、**お問い合わせ先**（16-27ページ）までご連絡ください。

1

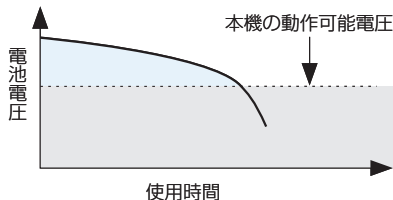
ご利用になる前に

電池パックのお取り扱い

1 ご利用になる前に

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 本機の電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。使用時間ともなって下図のように徐々に電圧が下がる性質があります。



- 高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
- 電池パックは使用しなくても長期保管しておくとき徐々に放電していきます。月に10%~20%、半年で約半分程度の自然放電をします。
- 電池パック単体で保管する場合は、電池パックの端子部がショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しいところで保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管をおすすめします。
- 電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受、カメラ撮影や動画再生など消費電流の大きい機能の連続使用により、電池の消耗が多くなります。
- 利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックは、端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてソフトバンクショップまたはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処分してください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

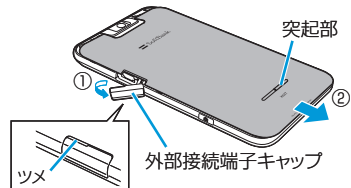
電池パック・電池カバーを取り付ける／取り外す

- 電池パックと電池カバーの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 電池カバーの取り付け／取り外しは、本機のディスプレイなどが傷つかないように、手に持って行ってください。

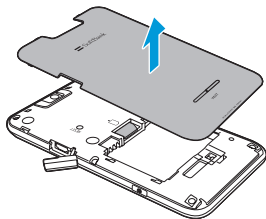
電池パックを取り付ける

- 1 外部接続端子キャップを開け①、電池カバーの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる②

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。
- 外部接続端子キャップを閉めたまま電池カバーをスライドさせると、破損する恐れがありますのでご注意ください。

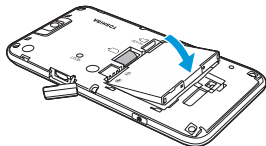


2 電池カバーを上を持ち上げて取り外す



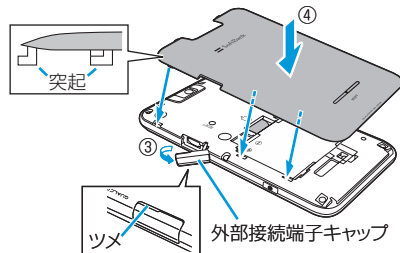
3 電池パックを取り付ける

- 電池パックの⊕⊖が表示されている面を上にして、電池パックの金属端子を本機の金属端子に合わせてから、矢印の方向にはめ込みます。



4 外部接続端子キャップを開け(③)、電池カバー内側の突起を本機の溝に合わせる(④)

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。



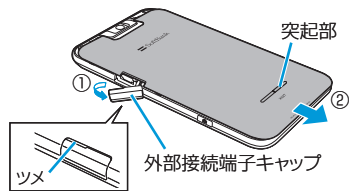
5 電池カバーを矢印の方向にスライドさせ(⑤)、外部接続端子キャップを閉める(⑥)



電池パックを取り外す

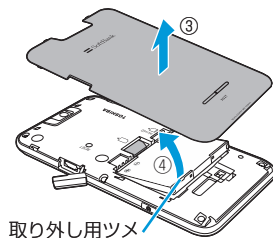
1 外部接続端子キャップを開け(①)、電池カバーの突起部を押さえながら矢印の方向にスライドさせる(②)

- 外部接続端子キャップを開ける際は、ツメを利用して、矢印の方向に開けてください。
- 外部接続端子キャップを閉めたまま電池カバーをスライドさせると、破損する恐れがありますのでご注意ください。



2 電池カバーを取り外し(③)、電池パックを取り外す(④)

電池パックの取り外し用ツメを利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外します。



充電する

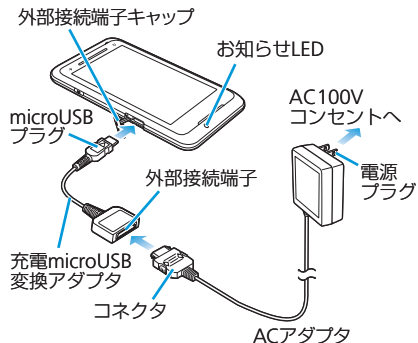
お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

充電時のご注意

- 必ず本機に電池パックを取り付けて充電してください。
 - 本機を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
 - 充電中は本機やACアダプタ(別売)が温かくなることがありますが、故障ではありません。本機が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本機が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
 - 以下の場合、充電エラーになりお知らせLEDが赤色に点滅します。
 - ・ 充電電圧が高くなった場合
 - ・ 電池パックが過充電/過放電した場合
 - ・ 5時間以上たっても充電が完了しなかった場合
- 充電エラーになると、起動中の機能が終了し、キー操作が制限されます。充電器を取り外すか電池パックを取り外してください。

ACアダプタ（別売）を使って充電する

ACアダプタ（別売）と付属の充電microUSB変換アダプタを使って充電する方法を説明します。



1 ACアダプタのコネクタを、充電microUSB変換アダプタの外部接続端子に差し込む

- 矢印の表記面を上にしたコネクタを、ラベル面を上にした外部接続端子に水平に差し込みます。

2 本機の外部接続端子キャップを開け、充電microUSB変換アダプタのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグは、刻印がある面を上にして水平に差し込みます。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電中はお知らせLEDが赤く点灯します。
- 充電が完了すると、お知らせLEDが消灯します。

4 充電が終わったら、本機からmicroUSBプラグを抜く

5 充電microUSB変換アダプタの外部接続端子からACアダプタのコネクタを抜く

- コネクタの両脇にあるリリースボタンを押しながら、水平に引き抜いてください。

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

- 本機の電源を切った状態で充電を開始すると、お知らせLEDが赤く点灯するまでしばらく時間がかかることがあります。
- ACアダプタ（別売）は家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- ACアダプタ（別売）のプラグは日本国内用です。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

PC接続用USBケーブルを使って充電する

本機とパソコンを付属のPC接続用USBケーブルで接続して、本機を充電することができます。

- パソコンとの接続のしかたは、7-4ページを参照してください。
- パソコンと接続する前に本機の電源を切ってください。
- PC接続用USBケーブルで充電しながら本機を使用するには、パソコンにActiveSyncまたはWindows Mobile®デバイスセンターをインストールしてください（7-3、7-5ページ）。また、USB接続の設定をActive Syncモードにしてください（14-5ページ）。
- パソコン上に「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期（7-2ページ）せず充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。

電池残量の確認のしかた

ホーム画面のタイトルバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。

電池レベルアイコンをタップすると、電池残量をより詳しく確認できます。

アイコン						
電池残量	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0	充電中

電池が切れそうになると

電池アラームが鳴り、警告メッセージが表示されて少したつと、自動的に電源が切れます。警告メッセージが表示されたら、すぐに使用中のデータを保存し、充電を始めてください。

- 電池切れの状態で充電を開始すると、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本機の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

電源を入れる／切る


電源を入れる

- 1 本機が1回振動し、お知らせLEDが緑色に点灯するまで を押したままにする(約2秒)

お知らせLEDは緑色に点灯したあと消えます。
「SoftBank」が表示されて少したつと、Windows[®]画面が表示され、続けてデバイスロック画面が表示されます。



デバイスロック画面

- 2  を左右になぞってデバイスロックを解除する
ホーム画面が表示されます。









ホーム画面

はじめて電源を入れたとき

お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れたときやマスタークリア後に再起動したときは、画面の指示に従って初期設定を行います（1-14ページ）。


電波状態を確認する

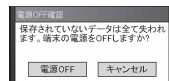
タイトルバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます。 が表示されたときは、サービスエリア外か電波の届かない場所にあります。

アイコン					
電波状態	強	←————→		弱	圏外

- 本機は世界対応ケータイのため、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあります。

電源を切る



- 1 電源OFF確認画面が表示されるまで  を押したままにする
- スリープモード中やデバイスロック画面（1-12ページ）表示中は操作できません。



電源OFF確認画面

- 2 「電源OFF」をタップする
「SoftBank」が表示されたあと、本機の電源が切れます。

スリープモードについて

本機を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。スリープモード中は、お知らせLEDが緑色に点滅します。操作中に  を押してもスリープモードになります。スリープモードを解除して操作画面に戻るには、 を押してデバイスロックを解除します。

スリープモードLED設定

スリープモード中であることを示す緑色のお知らせLEDを点滅させるかどうか設定できます。

- 1 「スタート」→「設定」→「システム」→「スリープモードLED設定」→「On」/「Off」→「OK」

初期設定を行う

1

ご利用になる前に

1 Windows®画面をタップする

- 画面のどこかをタップしてもかまいません。

2 画面の補正をする

- 指またはスタイラスペンを使って、画面の指示に従ってタップします。

3 日付と時刻を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9 東京、大阪」になっていることを確認します。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▼／▲で時刻を合わせます。

4 「次へ」をタップする

初期設定が完了し、再起動後にホーム画面が表示されます。

日付／時刻の設定

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「時計とアラーム」⇒「時刻」タブ
時刻設定画面が表示されます。



時刻設定画面

- 2 「現在地」をタップし、タイムゾーン、現在時刻、日付を設定する

- タイムゾーンが「GMT+9 東京、大阪」になっていることを確認します。
- 時、分、秒のそれぞれをタップして選択（反転）し、▼／▲で時刻を合わせます。
- 日付欄の▼をタップして表示されるカレンダーから、今日の日付を選択します。

- 3 「OK」⇒「はい」

日付と時刻の表示形式を設定する

日付の表示形式を設定する

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「地域」⇒「日付」タブ
- 2 短い形式および長い形式を選択する
 - 「区切り記号」欄をタップして、記号を入力して変更できます。
 - 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。
- 3 「OK」をタップする

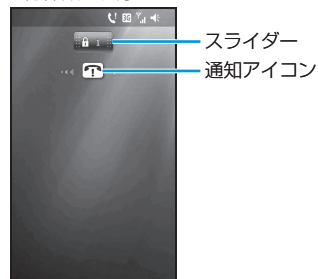
時刻の表示形式を設定する

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「地域」⇒「時刻」タブ
- 2 時刻の形式を選択する
 - 「区切り記号」欄をタップして、記号を入力して変更できます。
 - 画面上部のサンプル欄で、変更後の表示イメージを確認できます。
- 3 「OK」をタップする

デバイスロック画面に「タップまたはスライドしてください。」が表示されているとき、スライダーをタップすると通知アイコンが表示されます。

通知アイコンを左右になぞって、不在着信や新着メールなどを確認できます。

伝言メッセージ以外の各通知アイコンには通知の件数（2件以上ある場合）、スライダーには総件数が表示されます。



デバイスロック画面

通知アイコン	
	伝言メッセージあり (2-12ページ)
	不在着信 (2-5ページ)
	新着SMS/S!メール (5-8ページ)
	新着電子メール (5-16ページ)

本機の電源を入れるとホーム画面が表示されます。別の画面が表示されているときは \square を押すか、「スタート」⇒「Today」をタップして、ホーム画面に戻ることができます。



- ① スタートメニューを表示します (1-19ページ)。
- ② **タイトルバー** (1-17ページ)
本機の状態を示すアイコンが表示されます。
- ③ **選択パネル**
選択パネルを使ってホーム画面の項目を選択します。選択中の項目の情報やオプション、登録内容が表示されます。
選択パネルに $\triangleleft/\triangleright$ が表示されているとき、選択パネルを左右になぞって表示を切り替えることができます。
- ④ **メニューバー** (1-19ページ)
起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。
- ⑤ 通話を終了します。または、表示中の画面を閉じてホーム画面に戻ります。
- ⑥ 選択中の項目に対応するボタンが表示されます。

- ⑦ 「連絡先」をタップすると、連絡先一覧 (4-3ページ) を表示します。「通知」をタップすると、不在着信や新着メールなどの確認や、閉じてしまった通知画面を再表示できます。
- ⑧ 電話画面 (2-4ページ) を表示します。

● 項目名の右横に通知の件数が表示されているとき、メニューバーの「通知」をタップして通知の内容を確認することができます。

ホーム画面から機能を起動する

1 選択パネルでホーム画面の項目を選択する

- 項目を選択パネルに移動するには、以下の3通りの方法があります。
 - ・ホーム画面を上下にスクロールする
 - ・選択パネルを上下にドラッグする
 - ・項目をタップする
- 選択パネルに $\triangleleft/\triangleright$ が表示されているとき、選択パネルを左右になぞって表示を切り替えることができます。



2 選択パネルをタップする






対応する機能が起動します。








タイトルバーに表示されるアイコン

タイトルバーには本機の状態を示すアイコンが表示されます。アイコンをタップして音量の調節や接続設定などの操作を行うことができます。

通知アイコン	
	不在着信 (2-5ページ)
	SMS/S!メール受信中
	SMS/S!メール送信中
	SMS/S!メール送信完了
	新着電子メール (5-16ページ)
	新着SMS/S!メール (5-8ページ)
	伝言メッセージあり (2-12ページ)
	新着インスタントメッセージ (6-10ページ)
	マイクロソフト社からの通知
	SMSメモリアル
	Bluetooth®パートナーシップ要求 (9-9ページ)
	ビーム受信 (9-10ページ)
	Bluetooth®ヘッドセット接続中 (9-8ページ)
	ワイヤレスLAN検出 (9-4ページ)
	スピーカーオン (通話中) (2-4ページ)
	アラーム動作中 (14-4ページ)
	重複通知: 通知アイコンが重複している場合 (アラーム動作中と不在着信など)に表示されます。タップすると、隠れているアイコンを確認できます。









ローミングアイコン	
	ローミング中
	GPRS使用可能
	EDGE使用可能
	HSDPA使用可能
	3G (パケットあり) ネットワークエリア
	3G (パケットなし) ネットワークエリア

データアイコン	
	ワイヤレスLAN機能オン (9-4ページ)
	ワイヤレスLAN接続中 (9-4ページ)
	データ通信 (電話機能) オフ (9-2ページ)
	USB接続中 (7-4ページ)
	パソコンと同期中 (7-4ページ)




電波アイコン	
	電波状態 (1-13ページ)
	圏外 (1-13ページ)
	電話機能オフ (9-2ページ)
	GPRS接続中
	EDGE接続中
	3G (パケット) 接続中
	HSDPA接続中

タイトルバーに表示されるアイコン

1 ご利用になる前に



	GPRS使用中
	EDGE使用中
	3G (パケット) 使用中
	HSDPA使用中
	発着信中／通話中 (2-4ページ)
	データ通信接続中
	通話保留中 (2-4ページ)
	USIMカード未挿入 (1-6ページ)

音量アイコン

	マナーモード (バイブ) (2-11ページ)
	スピーカーオフ (2-3ページ)
	スピーカーオン (2-3ページ)



以下はホーム画面のみに表示されるアイコンです。

電池レベルアイコン

	電池レベル (1-12ページ)
	充電中 (1-10ページ)

以下はホーム画面以外の操作画面に表示されるアイコンです。

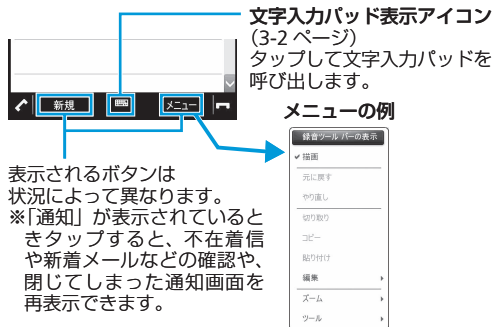
閉じる／OKボタン

	表示中の画面を閉じます。すべての画面を閉じるとホーム画面に戻ります。
	表示されている内容を確認して画面を閉じます。

- プログラムを起動したあと、「×」や「OK」をタップして画面を閉じてもプログラムは起動したままになっています。とくにInternet Explorer® Mobileが起動したままになっていると、自動でインターネットに再接続されることがありますのでご注意ください。起動したプログラムは、タスクマネージャーを使って終了します (14-9ページ)。


メニューバーについて

メニューバーには、起動中のプログラムや表示中の画面に対応するボタンが表示されます。ボタンをタップすると、そのとき利用できる機能やメニューを呼び出すことができます。



スタートメニューから機能を起動する

スタートメニューから本機に登録されているプログラムや機能を起動したり、本機の設定を変更したりできます。

- 1 タイトルバーの  または画面タイトル部分(ホーム画面では「スタート」)をタップする
スタートメニューが表示されます。



スタートメニュー

- 2 指またはスタイラスペンで画面を上下になぞってスクロールし、起動したい機能/項目をタップする

- スタートメニューの各項目については、16-2ページを参照してください。
- 本書では、スタートメニューを表示する操作 (1) を以下のように表記します。
「スタート」 →

1

ご利用になる前に

1 スタートメニューの項目を並べ替える

ご利用になる前に

1 スタートメニューで移動したい項目をタップしたままにする
ポップアップメニューが表示されます。

2 「先頭へ移動」をタップする
選択した項目が画面左上へ移動します。
•「先頭へ移動」で移動した項目は、「下へ移動」で移動できます。

並べ替えの例

例1：「連絡先」をタップしたままにしてポップアップメニューを表示し、「先頭へ移動」をタップする



例2：「連絡先」をタップしたままにしてポップアップメニューを表示し、「下へ移動」をタップする



「お使いになる前に」を利用する

本機の基本的な機能や設定の概要を確認できます。本機を使い始める前に目を通しておかれることをおすすめします。

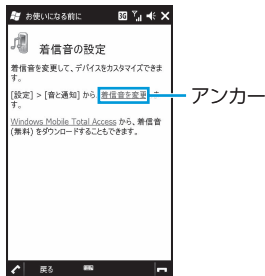
1 「スタート」⇒「お使いになる前に」

目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

説明画面が表示されます。

- アンカーをタップすると、その項目の設定画面が表示されます。



- 以下の操作でホーム画面の「お使いになる前に」を非表示にすることができます。再表示させたい場合は同じ操作を行ってください。

「スタート」⇒「お使いになる前に」⇒「[[お使いになる前に]の追加/削除」⇒「[[お使いになる前に]の追加/削除」⇒「ok」

本機のヘルプを利用する

1 「スタート」⇒「ヘルプ」

全目次画面が表示されます。

2 確認したい項目をタップする

- ヘルプ画面で以下の機能を利用できます。

目次	全目次を表示します。
検索	検索画面を表示します。「検索」欄に調べたい語句やキーワードを入力し、「検索」をタップします。
←	以前表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。
→	さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

オンラインヘルプを利用する

本機からWindows Mobile®のオンラインヘルプを参照できます。

1 「スタート」⇒「Internet Explorer」⇒⇒⇒「Explore Windows Mobile」

タッチパネルとモーションコントロールの使いかた

1

ご利用になる前に

本機のディスプレイはタッチパネルになっており、指またはスタイラスペンで直接触れて操作します。また、本機の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本機を縦または横に持ち替えたり、振ったり、たたいたりして、画面表示を切り替えたり、機能を起動したりできます（モーションコントロール）。

タッチパネル利用上のご注意

- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
- 爪やボールペン、ピンなど先の尖ったものや、指で強く押さないでください。

項目を選択する

画面の項目を指またはスタイラスペンで軽くたたきます。




縦／横画面表示を切り替える

本機を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

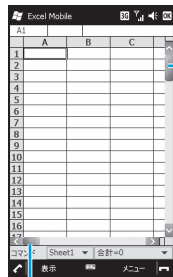
- モーションセンサー設定で縦横表示切り替えを有効にしてから操作してください（1-24ページ）。



- 本機を垂直に立てた状態で操作してください。本機を水平に寝かせるとモーションセンサーが正常に働かず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- モーションセンサー設定の縦横表示切り替えが無効のときは、を1秒以上押して縦／横画面表示を切り替えます。
- ビデオ撮影など一部の機能では、縦／横画面表示の切り替えができません。

スクロールする

仕事や予定表の一覧やWord Mobile、Excel Mobileのドキュメントなど、1画面で表示しきれないときは、スクロールバーが表示されます。スクロールバーをドラッグするか、画面を上下／左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。

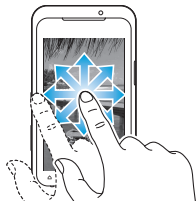


上下スクロールバー

左右スクロールバー

パンする

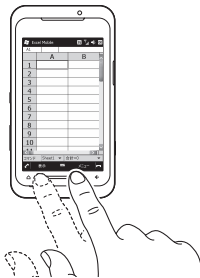
Webページやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに、画面そのものを全方向にドラッグして見たい部分を表示します。



表示を拡大／縮小する

Internet Explorer® MobileやWord Mobile、Excel Mobileなど、一部のアプリケーションでは、UIキーを右になぞって表示を拡大し、左になぞって縮小することができます。

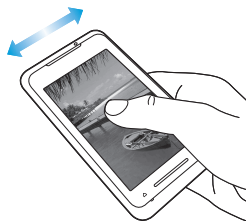
●横画面表示のときは、上になぞって拡大し、下になぞって縮小します。



シェイク操作で指定した動作を行う

本機を1回振って、指定した動作を行います。

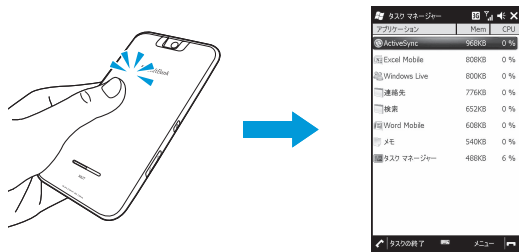
●モーションセンサー設定でシェイクによる起動を有効にしてから操作してください (1-24ページ)。



タップ2回操作でタスクマネージャーを起動する

本機の背面を2回たたいて、タスクマネージャー（14-9ページ）を起動します。

- モーションセンサー設定でタップ2回によるタスクマネージャーの起動を有効にしてから操作してください（右記）。



- 2回続けて確実にタップしてください。2回のタップの間隔が短すぎたり長すぎたりすると、モーションセンサーが正常に動かず、タスクマネージャーが起動しない場合があります。
- 本機を机やテーブルなどに置く際、衝撃を与えると、モーションセンサーが誤動作する場合があります。

モーションセンサーを設定する

モーションコントロール（縦横表示切り替え、タップ2回操作、シェイク操作）の有効/無効を設定します。また、シェイク操作で行う動作を指定します。

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「モーションセンサー設定」

- 2 有効にしたい操作にチェックを付ける

- 「シェイクによる起動を有効にする」にチェックを付けた場合は、シェイク操作で行う動作を選択します。

- 3 「OK」をタップする

モーションセンサーを調整する

モーションコントロールが正しく動作しない場合は、モーションセンサーを調整してください。

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「システム」⇒「モーションセンサー調整」

- 2 本機を水平な机などの上に置き、「調整」をタップする

- 3 調整が完了したことを知らせる画面が表示されたら、「×」をタップして画面を閉じる

- 4 「OK」をタップする

フローティングパッドの使いかた

フリーカーソルパッドとマルチファンクションパッドを切り替えて使用できます。

フリーカーソルパッド

パソコンでマウスを操作するのと同じ感覚で操作できます。画面上にポインタを表示し、フリーカーソルエリアを指またはスタイラスペンでなぞって、ポインタを移動します。

マルチファンクションパッド

上下左右ボタンでカーソルを移動して項目を選択します。

フローティングパッドを起動する

UIキーを画面の方向になぞります。



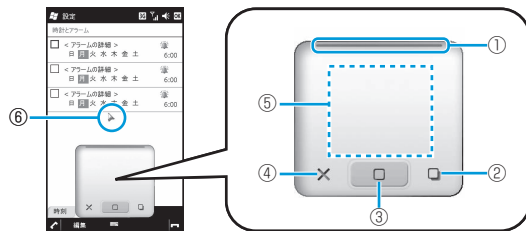
フローティングパッドが表示されます。

● カメラ使用中はフローティングパッドを起動できません。

フリーカーソルパッドの使いかた

1

ご利用になる前に

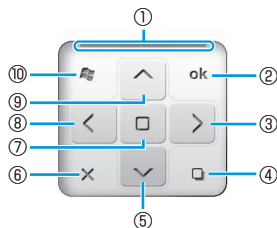


- ①パッド移動つまみ
指またはスタイラスペンでドラッグして、フリーカーソルパッドを移動します。
- ②パッド切り替えボタン
1秒以上タップして、マルチファンクションパッドに切り替えます。
- ③タップボタン
ポインタの位置をタップしたのと同じ動作を行います。
- ④終了ボタン
フリーカーソルパッドを消します。
- ⑤フリーカーソルエリア
指またはスタイラスペンでなぞってポインタを移動します。
- ⑥ポインタ

● テキスト選択可能な画面でフリーカーソルエリアをタップすると、テキスト選択モードに切り替わります。そのまま指を離さずポインタをドラッグして、テキストを選択できます。

1 マルチファンクションパッドの使いかた

ご利用になる前に



- ① **パッド移動つまみ**
指またはスタイラスペンでドラッグして、マルチファンクションパッドを移動します。
- ② **okボタン**
画面右上に表示される「OK」や「×」をタップしたのと同じ動作を行います。
- ③ **右ボタン**
カーソルを右に移動します。
- ④ **パッド切り替えボタン**
1秒以上タップして、フリーカーソルパッドに切り替えます。
- ⑤ **下ボタン**
カーソルを下に移動します。
- ⑥ **終了ボタン**
マルチファンクションパッドを消します。
- ⑦ **決定ボタン**
カーソルで選択している項目を確定／実行します。
- ⑧ **左ボタン**
カーソルを左に移動します。
- ⑨ **上ボタン**
カーソルを上を移動します。
- ⑩ **スタートメニューボタン**
スタートメニューを表示します。

フローティングパッドを消す

フローティングパッドを消すには、以下の3通りの方法があります。

- 終了ボタンをタップします。
- パッド移動つまみをドラッグして、フローティングパッドを画面の左右または下側に引き出します。
- 起動したときと同様に、UIキーを画面の方向になぞります。

フローティングパッドを設定する

- 1 「スタート」⇒「設定」⇒「個人」⇒「フローティングパッド設定」
- 2 「フローティングパッドを使う」にチェックを付ける、またはチェックを外す
 - チェックを外した場合は4に進みます。
- 3 「右きき用」または「左きき用」をタップする
- 4 「OK」をタップする